

激しい変化の時代、存在価値の高い人材であり続けるためには、「新しい価値創造」を推進するとともに、たえず自分を変革し続けることが求められます。そのためには、働き方を主体的に考え、自己成長を意識しながら自律的に行動することが重要です。30代前後はキャリア・ライフともに課題が多様化する時期であるため、課題を乗り越えるための具体策を検討することで、主体的にキャリア形成を行うことへの意識醸成を図ります。

<対象者> 若手社員(20代後半～30代前半)

<プログラム>

時間	項目
午前	<p>◇ オリエンテーション</p> <p>1. 私たちを取り巻く環境と仕事</p> <p>(1) 経済環境・人口構成・少子高齢社会</p> <p>(2) 労働市場・個人と企業の関係</p> <p>(3) 企業の求める人材像</p> <p>2. 自己の振り返り</p> <p>(1) 自己理解の重要性</p> <p>(2) エゴグラムを用いた自己分析 ～心の動き、思考特性の傾向、ストレス状況を知る～</p> <p>3. 自分自身を客観視する ～周囲からのメッセージ～</p> <p>(1) 自己評価と他者評価の確認</p> <p>(2) 組織からの期待</p>
	昼 食
午後	<p>4. 他者のキャリアから学ぶ</p> <p>(1) 尊敬する人物像の共有</p> <p>(2) 多様なキャリアから共通点を探る</p> <p>(3) 自己のキャリアに活かす</p> <p>5. これからのキャリア形成</p> <p>(1) 自分のキャリアを自分で考える、デザインすること</p> <p>(2) キャリア開発の考え方とポイント</p> <p>(3) ワークライフマネジメント</p> <p>(4) 長期のビジョンを策定する</p> <p>(5) キャリアビジョン実現のためのキャリアプラン</p> <p>(6) キャリア形成計画の策定</p> <p>6. 存在価値の高い人材を目指して</p>